



筑波銀行 NEWS RELEASE

2026年1月30日

筑波サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

筑波銀行（頭取 生田 雅彦）は、栗原紙材株式会社（代表取締役 栗原 護）（以下、当社という）と「筑波サステナビリティ・リンク・ローン」（以下、筑波SLLという）の契約を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

筑波SLLは、お客様の主要な経営戦略と整合した重要業績評価指標（KPI）とその取組目標であるサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）を選定・設定し、SPTsの達成状況に応じて、お客様にインセンティブを発生させ、サステナビリティ経営の高度化を促進するローンです。

筑波銀行は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より商品運用（フレームワーク）の第三者評価を取得し、国際的な原則である「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省の「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」の趣旨に沿った運用を行っております。

記

1. お客様の概要

企業名	栗原紙材株式会社
代表者	代表取締役 栗原 護
所在地	東京都荒川区
設立	1967年6月
資本金	50百万円
事業内容	古紙リサイクル事業

2. 契約の概要

契約締結日	2025年12月25日
借入金額	240百万円
資金用途	運転資金

3. KPI/SPTs の内容

K P I	二酸化炭素排出量(Scope1, 2)の削減 ※基準値：2025年度「3,838トン」
S P T s	2027年度 3,635トン (5.4%削減) 2028年度 3,537トン (2.7%削減) 2029年度 3,442トン (2.7%削減) 2030年度 3,350トン (2.7%削減)
KPI選定の妥当性	・当社は、環境管理システムの枠組みに沿って、環境問題に対する目的・目標設定と定期的な見直しを行い、環境負荷低減に努めている。2008年6月には、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム「エコアクション21」を取得し、二酸化炭素排出量の削減に向けた取り組みを積極的に進めている。
SPTs設定の妥当性	・日本のNDC目標「2030年度46%削減(2013年度対比)」から算出された年平均削減率「2.7%」を基に本SPTsを設定
主なSDGs項目	13 気候変動に具体的な対策を 

筑波銀行は、お客さまのサステナビリティ経営への伴走支援に取り組み、SDGsの目指す「持続的で多様性と包摂性のある社会の実現」に向けて、地域になくてはならない銀行として、地域社会の持続的発展に貢献してまいります。

以上

報道機関のお問合せ先
筑波銀行 総合企画部 IR・広報室
TEL 029-859-8111